平成 24 年 10 月５日

各　　位

会　社　名　株式会社みずほフィナンシャルグループ
代 表 者 名　取締役社長 佐藤 康博
本店所在地　東京都千代田区丸の内二丁目５番１号
コード番号　8411（東証第一部、大証第一部）

平成 25 年３月期第２四半期の有価証券評価損に関するお知らせ

市場価格のある国内株式のうち、時価が著しく下落しているものについて、平成 25 年３月期第２四半期において減損処理による有価証券評価損を計上する見込となりましたのでお知らせいたします。

記

（Ａ）市場価格のある国内株式の減損処理額(３行合算調整後ベース) (平成 24 年７月１日から平成 24 年９月 30 日まで)	1,737 億円
（Ｂ）平成 24 年３月期末の純資産額(連結ベース)	68,692 億円
（Ａ／Ｂ×１００）	2.5%
（Ｃ）平成 24 年３月期の経常利益額(連結ベース)	6,485 億円
（Ａ／Ｃ×１００）	26.7%
（Ｄ）平成 24 年３月期の当期純利益額(連結ベース)	4,845 億円
（Ａ／Ｄ×１００）	35.8%

・「３行合算調整後」は、株式会社みずほ銀行、株式会社みずほコーポレート銀行、みずほ信託銀行株式会社の減損処理額の合計に連結上の調整を加えたものであります。なお、３行合算では 1,986 億円となります。
・四半期会計期間末における市場価格のある国内株式の減損処理にあたっては四半期洗替え法を採用しており、平成 25 年３月期においては、その期末日の時価等により損失の計上額が変動する場合があります。

上記以外の決算の状況につきましては現在集計中であり、平成 25 年３月期第２四半期決算発表時にお知らせいたします。

以　上

本件に関するお問い合わせ先
みずほﾌｨﾅﾝｼｬﾙｸﾞﾙｰﾌﾟ　ｺｰﾎﾟﾚｰﾄ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ部 広報室　03-5224-2026

本資料には、将来の業績等に関する記述が含まれております。こうした記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、かかる記述及び仮定は将来実現する保証はなく、実際の結果と大きく異なる可能性があります。

当社の財政状態及び経営成績や投資家の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、本資料のほか、有価証券報告書、ディスクロージャー誌等の本邦開示書類や当社が米国証券取引委員会に提出した Form20-F 年次報告書等の米国開示書類など、当社が公表いたしました各種資料のうち最新のものをご参照ください。

当社は、業績予想の修正等将来の見通しの変更に関する公表については、東京証券取引所の定める適時開示規則等に基づいて実施いたします。従って、最新の予想や将来の見通しを常に改定する訳ではなく、またその責任も有しません。